

令和5年 2月 28日

嬉野市議会
議長 辻 浩一様

総務企画常任委員会委員長
宮崎 良平

総務企画常任委員会報告書

令和4年第4回嬉野市議会定例会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会 会議規則第107条の規定により報告する

付託事件名 「SAGA2024 国スポ・全障スポについて」

調査の理由

2024年開催される「SAGA 2024 国スポ・全障スポ」において、競技者、関係者、観客等の迎え入れはもちろんのこと、宿泊地としての役割も極めて大きい。観光地としてのさらなる魅力発信及び今後の観光客誘致に繋げられるよう、様々な角度から最大限の歓迎、おもてなしが重要と考え、県との連携及び市の役割について調査を行った。

調査日 令和5年1月30日 10:00～12:00

調査場所 SAGA サンライズパーク

対応者

佐賀県競技力向上推進本部事務局
氏

堤 啓剛

SAGA2024・SSP 推進局 SAGA2024 総務連携チーム 副課長

北川 貴穂氏

SAGA2024・SSP 推進局 SAGA2024 競技運営チーム 副課長

平野 隆治氏

SAGA2024・SSP 推進局 SAGA2024 SAGA サンライズパーク

整備推進課 整備担当

東 啓一郎氏

SAGA2024・SSP 推進局 SAGA2024 企画広報チーム 参事

久保 緑

氏

調査の概要

SAGA2024 国スポ・全障スポにおける県と市町の役割について

調査内容

【大会までのスケジュール】

- ・国スポリハーサル大会 2023年5月～2024年6月まで
- ・全障スポリハーサル大会 2024年4月、6月
- ・国スポ本大会 総合開会式 2024年10月5日/総合閉会式 10月15日
- ・全障スポ本大会 開会式 2024年10月26日/閉会式 10月28日

嬉野市開催分

○SAGA2024 国スポ

【正式競技】

会場 嬉野総合運動公園 みゆき球場

(軟式野球)

- ・成年男子 2024年10月11日～13日
- ※リハーサル大会 第45回西日本軟式野球大会 (1部) 2023年5月12日～15日

会場 U-Spo (嬉野市中央体育館)

(レスリング)

- ・フリー 成年男子、成年女子、少年男子 2024年10月6日～7日
- ・グレコローマン 成年男子、少年男子 2024年10月8日～9日
- ※リハーサル大会 令和6年度全九州高等学校体育大会 レスリング競技大会
2024年6月15日～16日

(なぎなた)

- ・成年女子、少年女子 2024年10月12日～14日
- ※リハーサル大会 第64回都道府県対抗なぎなた大会
2023年5月27日～28日

【公開競技】

(武術太極拳)

2024年9月21日～22日

【デモンストラレーションスポーツ】

(スポーツチャンバラ)

2024年7月7日

○SAGA2024 全障スポ

(ボッチャ)

2024年10月26日～27日

日

※リハーサル大会

2024年4月28日

【オープン競技】

(電動車椅子サッカー)

【競技会運営スタッフの育成・導入】

○競技役員の養成 各競技団体が平成28年度から年次計画に基づき養成する。

(県は各競技団体に対し役員養成の補助を実施)

○ボランティアスタッフの区分

- ・運営ボランティア【県募集】(開・閉会式の運営サポート等)
- ・情報支援ボランティア【県募集】(聴覚障がい者への手話、筆談、要約筆記等の情報保障)
- ・選手団サポートボランティア【医療福祉系の大学、短大、専門学校等に県が協力要請】

・競技会ボランティア【市町募集】

○ボランティアスタッフの募集・育成

- ・県ボランティア 令和5年4月から募集を開始し、事前研修等を実施する。
- ・嬉野市ボランティア 令和2年度からスポーツサポーター募集し、既に市内のスポーツイベント等で活動している。

【競技者を迎え入れる体制と市の役割について】

〈案内所・競技会場「おもてなし広場」〉

○駅等での案内所については、国スポ競技会場付近は市町が、開閉会式会場付近は県が案内所を設置する。

○昨年の開催地においては競技運営情報のみならず、来訪される方に市町の魅力を伝えるため、観光マップ、特産品紹介チラシ、観光アプリを使ったスタンプラリーなど実施され、競技会場においては競技体験コーナー、飲食、地元特産物の販売・展示や観光案内所などの「おもてなし広場」を設置されており、県内各市町においても、魅力発信及び今後の観光客誘致においてチャンスと捉え、様々な「しかけ」の検討が必要である。

〈歓迎ムードの創出について〉

- 県ではメインメッセージに基づいた装飾物デザインを制作する。
- 県全体で統一したイメージで開閉会式用に作成したのぼり旗、横断幕、看板等のデザインデータを市町と共有し街中の歓迎ムードを高めていきたい。
- 各市町のボランティアスタッフの制服のデザイン、ステッカー、バッグ等、

地域のキャラクターと組み合わせて使用も可能である。

【宿泊における市の役割について】

○SAGA2024の宿泊について基本は県：開閉会式に伴う大会役員等及び全障スポーツ競技会関係者、市：国スポーツ競技会関係者の配宿責任を負うが、配宿業務については、業務の効率化のため、県が委託する事業者で「合同配宿本部」を立ち上げ、役割分担しながら一体的な配宿業務を実施する。

○具体的には県と県が委託した事業者で、県・市町分全体の客室確保業務を実施し、県全体の配宿案を作成する。

○市町は競技団体と連携し、「配宿上、何を優先するか」（距離、食事、シングル部屋等）の設定条件や客室確保にあたっての組合支部やキーとなる宿泊施設への客室提供依頼への同行などを実施する。

○「嬉野市は県西部の配宿において、非常に重要な地域であるため、客室提供に向けて協力をお願いしたい」とのこと。

【競技者（特に障がい者スポーツ）の移動手段について】

○開・閉会式、国スポーツ競技会、全障スポーツ競技会の関係者輸送に必要なバス台数は県が確保し、国スポーツ競技会に関しては市町に斡旋する。

○市町は国スポーツ競技会参加者の輸送計画（宿⇄競技会場・練習会場）を立て、当該計画に基づき当日のバス等の運用を実施する。

○全障スポーツ競技会の輸送は、バスタクシー協会の協力を得ながら、先催県の状況も参考に県が準備する。

○身体障がいのある方の輸送については、県内の福祉タクシーのみでは不足することも想定され、バス、タクシー協会や運輸支局の協力を得て、県外からの確保も視野に入れている。

【SAGA2024 国スポ・全障スポ開催までの強化育成について】

【4つの柱】

1 組織体制の整備・充実

（組織整備への支援、強化計画の策定支援、市町、競技団体及び教育機関等の連携・支援等）

2 大会競技の普及及び選手の発掘・育成・強化

（スポーツ体験教室の開催、強化指定選手の認定・強化指定校及び拠点の選定、企業への協力依頼、強化活動に対する支援等）

3 指導体制の確立

(国内外の優秀な指導者を研修会等に招聘、県内指導者の派遣研修の実施、資格取得の促進、強化指定コーチの認定等)

4 パラスポーツ普及のための環境整備

(サポーターの育成、地域とパラスポーツとのつながりの促進、広報活動によるパラスポーツの周知と情報戦略、競技普及に対する整備等)

委員会の意見

昭和 51 年若楠国体・全国障害者スポーツ大会が開催されて 47 年が経ち、来年令和 6 年に「SAGA2024 国スポ・全障スポ」が開催される。県のメイン会場が SAGA サンライズパークとして新しく生まれ変わり、SAGA アリーナ（九州最大級の多目的アリーナ等）、SAGA アクア（国際公認プール）、パークテラス（カフェ、マルシェ等）、総合運動場等様々な用途で利用できるようになっており、国スポ・全障スポに向け着実に準備は進みつつある。

嬉野市においては国スポの公式競技として、軟式野球、レスリング、なぎなた、またデモンストレーションスポーツとしてスポーツチャンバラが実施される。全障スポではボッチャ、オープン競技の車椅子サッカーの競技会場となり、大会運営及び関係者、選手団の受け入れを担うことになる。さらに古くから観光の街として栄えてきた嬉野市においては、県も県西部の非常に重要な配宿拠点と捉えており、近隣市町で行われる競技者の受け入れ等も視野に入れた取組、また全障スポにおいても、ユニバーサルデザイン推進市としてこれまで培われてきた実績や経験を最大限生かしながら迎え入れる体制を整えていくことが重要と考える。

最後に今回の視察研修において特に感じたのは、選手の強化や開・閉会式以外は各市町に大きく権限を委譲されており、負担は大きいものの、大会に向けた準備、運営、迎え入れ、おもてなしが自由な発想で行えることから、各市町オリジナリティに富んだ大会になることと予想される。我々嬉野市も観光地としてのさらなる魅力発信及び今後の観光客誘致に繋げられる大きなチャンスと捉え、最大限の歓迎及びおもてなしで、競技者、関係者、観客の方々を迎え入れる体制を整え、存分に嬉野市の魅力を伝えられるよう努めるべきである。